

地震対応初動マニュアル (教職員用)

【安否確認システムの登録】

安否確認システムのサイト

<https://anpi.mob-connect.com/ais/Auth.do?C=12945>

に接続する。ログイン ID はメールアドレスの@から前の部分
(-は外す)、パスワードは初期値 12345 でログインし、個人情報
メンテナンスにより、緊急時の連絡先(MAIL)を登録する。

スマートフォン用QRコード



国立大学法人小樽商科大学

地震が発生したら

地震の発生

1. まず、自分の身を守る！

- ・教室、建物内にいる場合は、慌てて外へ飛び出さない。
- ・揺れが収まるまで机の下などに潜る、バッグ・衣類などで頭を覆うなどして、落下物から頭を保護する。窓や棚、ガラスなど、割れたり中のあるものが飛び出しそうなものから離れる。
- ・広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み、揺れが収まるのを待つ。

2. 素早く火元を確認する！

- ・ガスの元栓を締めるなどにより、火災の発生を防ぐ。

3. 脱出口を確保！

- ・余裕があれば非常口やドアを開けるなど、脱出口を確保する。



地震発生の直後

1. 火災が発生した場合！

- ・大きな声で「火事だー」と叫び、付近の人に知らせ、屋内消火栓の非常ボタンを押して非常ベルを鳴らす。自分の身が安全な範囲で、周囲の協力を得ながら初期消火に協力する。

2. 負傷者の救助！

- ・負傷者がいる場合は、速やかに教職員へ連絡し、かつ、安全な範囲で、周囲の協力を得ながら応急手当を行う。



落ち着いたら

1. 周囲が安全なら待機する！

2. 周囲が危険なら指定された避難場所へ移動する！

- ・余震の可能性に留意しながら、倒れやすい備品や窓ガラスから離れ、地面の亀裂や陥没に注意して移動する。移動にエレベーターを使わない（地震時にはエレベーターは緊急停止する）。

3. 家族との安否確認を行う！

- ・電話回線混雑時には、災害用伝言ダイヤル171で離れた身内等に伝言が可能である。

4. 安否確認メールの返信！

- ・日本国内で震度5以上の地震が発生した場合、「安否確認システム」により、自動的に安否確認メールが送信されるので、受信したら、必ず返信する。

5. 帰宅又は避難所等で待機！

- ・帰宅又は待機の判断は、大学の指示に従う。
(構内緊急放送によりアナウンスを行う場合がある)

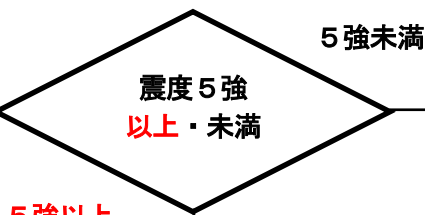
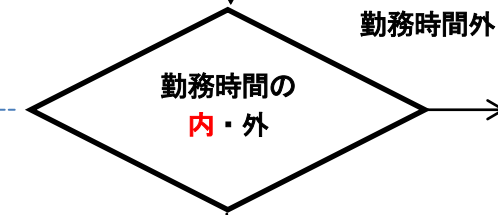


地震の発生

地震発生直後の初動対応（フロー図）

(教職員の場合)

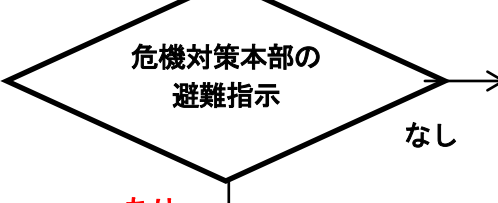
まずは、自分の安全を確保する！



出勤の必要なし

参集・安否確認

- 小樽市内在住者は、安否確認システムからのメールに返信し、職場に参集する。
- 小樽市街在住者は、安否確認システムからのメールに返信し、その後の指示を待つ。



通常の業務にもどる

あり

避難場所へ避難
(次ページ参照)

市内在住者は、安全を確保しながら、職場に参集

危機対策本部の指示により業務に従事

【緊急時の連絡先】

- 総務課総務係
TEL: 0134-27-5206,5207,
FAX: 0134-27-5213
E-mail: shomu@office.otaru-uc.ac.jp

【上記に繋がらない場合】

- 警務員室 TEL: 0134-27-5226

必要に応じて避難

	災害時避難所（避難建物）
	災害時避難場所
	避難経路・非常口

